

人の繋がりで動き出す インフラマネジメント

主催：インフラメンテナンス市区町村長会議 九州・沖縄ブロック
インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム 合同開催

2026年10月6日(火)
13:00～17:30 (受付12:30～)

福岡国際会議場 4F

〒812-0032

福岡県福岡市博多区石城町2-1

参加費
無料

会場参加：先着200名 WEB参加：先着500名



当イベントはCPDプログラムに認定される予定です

インフラの老朽化が進む中、多くの自治体は自然災害対応や人材・予算・技術の制約に対応した、効率的なインフラメンテナンスへの転換に踏み出せていないのが現状です。今回は、独自の歩みを始めた自治体から、どのように課題解決をしたのか？誰と連携して施策を実現できたのか？を共有してもらい、“みんなで繋ぐ”“未来に継ぐ”インフラマネジメントについて討論します。

プログラム

1. 開会の挨拶

13:00～13:15

インフラメンテナンス市区町村長会議

九州・沖縄ブロック幹事 長崎市長

九州フォーラムリーダー 久留米工業大学 学長

国土交通省 九州地方整備局 局長

内閣府 沖縄総合事務局 次長

鈴木 史朗 氏

日野 伸一 氏

森下 博之 氏

伊藤 高 氏

第一部：基調講演

2. 国土交通省の

13:15～13:45

インフラメンテナンスに関する取組みについて

国土交通省 総合政策局

公共事業企画調整課 課長

笠井 雅広 氏

3. 今後のインフラマネジメントの

13:45～14:15

あり方について

インフラメンテナンス国民会議 副会長

植野 芳彦氏

第二部：市区町村長会議

4. 市町村における

インフラメンテナンスの取組み状況 14:25～15:45

【登壇者】

①ブロック幹事：長崎市長

②企画委員：柳川市長、武雄市長、日田市長、鹿屋市長、浦添市長、
熊本市副市長（代理）、宮崎市道路維持課長（代理）

③構成員：築上町(福岡県)、南阿蘇村(熊本県)
延岡市(宮崎県)、長崎市(長崎県)

- (1) 市町村における取組み事例調査の報告
- (2) 課題解決に向けた具体的事例の紹介
- (3) 各県企画委員による意見発表・とりまとめ

第三部：パネルディスカッション

5. パネルディスカッション

15:55～17:25

『人の繋がりで動き出すインフラマネジメント

～現場が語るわがまちの知恵と工夫～』

【ファシリテーター】

(株)日本ピーエス スマートインフラサービス推進室長 福島 邦治 氏

【登壇者】

インフラメンテナンス国民会議 副会長

植野 芳彦 氏

山口県

吉村 崇 氏

日向市

米良 成功 氏

高森町

土井谷 顕 氏

※ディスカッションには第二部で具体的事例紹介を行う4自治体も参加

6. 閉会の挨拶

17:25～17:30

九州フォーラムサブリーダー

(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部 顧問 田中 清 氏

申込方法



PCより

<https://ws.formzu.net/dist/S21578006/>



スマートフォンより



【申込期間】

2026.9.7～2026.10.1

【共催】(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部

【協賛】(一社)九州建設技術管理協会/(一社)九州地域づくり協会/(一社)九州地方計画協会

【後援】国土交通省九州地方整備局/内閣府沖縄総合事務局/(公社)土木学会西部支部/(公社)日本コンクリート工学会九州支部/

(公社)地盤工学会九州支部/(一社)九州橋梁・構造工学研究会/(一社)日本建設業連合会九州支部/

(公社)日本技術士会九州本部/(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部/(一社)日本橋梁建設協会/

(特非)九州コンクリート製品協会/(公社)日本工学アカデミー九州支部/(株)日刊建設工業新聞社/(株)九建日報社/

(株)日刊建設通信新聞社

第一部 基調講演 プレゼンター



九州地方整備局企画部長、水管理・国土保全局治水課長を経て、2026年8月より現任。現在は、公共事業企画調整課長として、国土強靱化やインフラ老朽化など、公共事業に関する様々な課題に取り組んでいる。

国土交通省 総合政策局
公共事業企画調整課 課長

かさい まさひろ
笠井 雅広 氏



橋梁メーカーや建設コンサルタント、国の研究機関を歴任し、橋梁・インフラマネジメントの第一人者として携わる。現在でも富山市政策アドバイザーや国土交通省の各専門委員などとして社会インフラの維持管理などに取り組んでいる。

インフラメンテナンス
国民会議 副会長

第三部 パネラー

うえの よしひこ
植野 芳彦 氏

第二部 市区町村長会議ブロック会議 会議メンバー



長崎県長崎市生まれ。東京大学法学部を卒業後、運輸省（現・国土交通省）に入省。観光庁企画室長、内閣府地方創生推進事務局総括参事官、海上保安庁第五管区海上保安本部長、九州運輸局長などを歴任。令和5年4月に長崎市長に就任。

長崎市長
インフラメンテナンス市区町村長会議
九州・沖縄ブロック幹事

すずき しろう
鈴木 史朗 氏



1989年柳川市役所に入庁。産業経済部長、総務部長を経て、2025年に柳川市長に就任し現在1期目。市職員時代は、大雨時の洪水対策として、「先行排水」を地域住民と共に推進した。市長就任後も災害に強いまちづくりを目指している。

柳川市長
インフラメンテナンス市区町村長会議
九州・沖縄ブロック企画委員

まつなが ひさし
松永 久 氏



東京大学法学部卒業後、総務省入省。大分県庁、内閣官房、福岡市役所への出向を経て、総務省行政管理局副管理官を最後に退職後、武雄市役所へ入職。財政課、企画課を経て平成27年1月武雄市長に就任。現在3期目在任中。

武雄市長
インフラメンテナンス市区町村長会議
九州・沖縄ブロック企画委員

こまつ ただし
小松 政 氏



大分県日田市生まれ。東京大学法学部を卒業後、厚生省（現・厚生労働省）に入省。在フランス社会保障制度調査員、厚生労働省社会・援護局総務課長などを歴任。大分大学副学長、松山大学特任教授などを経て、令和5年8月に日田市長に就任。

日田市長
インフラメンテナンス市区町村長会議
九州・沖縄ブロック企画委員

むくの みちこ
棕野 美智子 氏



鹿児島県鹿屋市生まれ。大阪大学経済学部を卒業後、日本航空（JAL）に入社し、4年間の勤務後帰郷。鹿児島大学大学院農学研究科修了、鹿児島県議会議員を3期務めたのち、令和8年2月鹿屋市長に就任。現在1期目

鹿屋市長
インフラメンテナンス市区町村長会議
九州・沖縄ブロック企画委員

ごうばら たくお
郷原 拓男 氏



沖縄県浦添市生まれ。カリフォルニア大学バークレー校修士課程修了後、社会医療法人仁愛会 介護老人保護施設アルカディアに勤務。NPO法人ライフサポートで代代表理事を務めたのち、平成25年2月に浦添市長に就任。現在4期目在任中。

浦添市長
インフラメンテナンス市区町村長会議
九州・沖縄ブロック企画委員

まつもと てつじ
松本 哲治 氏



熊本商科大学経済学部卒業後、昭和61年に熊本市へ入庁。政策局長、上下水道事業管理者を歴任し、令和7年4月に熊本市副市長に就任。行政経営、財政運営及びインフラ事業経営の経験を生かし、社会資本の戦略的維持管理、防災・減災対策、持続可能な都市経営の推進に取り組んでいる。

熊本市 副市長

たなか としみ
田中 俊実 氏



1992年宮崎市役所入庁。これまで土木課、都市計画課、下水道整備課など、主に市のインフラ整備・維持管理部門を歩む。市街地整備課長等を経て、2025年4月より現職。道路インフラの維持管理に取り組む。

宮崎市
道路維持課 課長

わたなべ ひでひこ
渡辺 英彦 氏



福岡県築上町生まれ。福岡大学体育学部卒業後、1995年築城町（現築上町）役場に入庁。生涯学習課長、産業課長などを経て、2026年2月に築上町長に就任。町職員時代は被災地復興支援に積極的に参加し、消防団分団長として地域防災にも尽力。町長就任後も地域防災力の向上による安心・安全なまちづくりを目指している。

築上町長
インフラメンテナンス市区町村長会議
九州・沖縄ブロック構成員

第三部 パネラー
ふるいち あきお
古市 照雄 氏



熊本県熊本市生まれ。平成25年に南阿蘇村議会議員（2期）、令和3年に衆議院議員秘書、令和5年9月に第25代防衛大臣秘書を経験後、令和7年3月に南阿蘇村長に就任。現在1期目在任中。

南阿蘇村長
インフラメンテナンス市区町村長会議
九州・沖縄ブロック構成員

第三部 パネラー

おおた よしひろ
太田 吉浩 氏



2018年延岡市役所入庁。下水道課に配属されて6年間汚水管・雨水管の工事や維持管理に従事。その後土木課に異動し、主に市道や付属施設の維持管理を担当し、現在3年目。

延岡市
土木課 技師

ありま しんのすけ
有馬 晋之介 氏



1996年長崎市役所に入庁。中央総合事務所地域整備1課長を経て、2025年4月より現職。現在は、安全安心で快適に暮らし続けられるまちづくりに向け、道路・河川・公園の適正な維持管理の推進に取り組んでいる。

長崎市
中央総合事務所 理事

第三部 パネラー
しばはら こういち
柴原 浩一 氏

第三部 パネルディスカッション パネラー

<ファシリテーター>



1997年（株）日本ピーエス入社。以来、PC橋の施工管理、設計、技術計画や企画に携わる。2017年～2025年までツタワルドボクの副会長を兼任。土木の魅力ややりがいや学生に伝える活動に従事。2023年7月からインフラ維持管理の部署を担当。

（株）日本ピーエス
スマートインフラサービス推進室 室長

ふくしま くにはる
福島 邦治 氏



2013年高森町役場に入庁。建設課係長、農林政策課課長補佐等を経て、2025年4月より現職。主に高森町が管理する道路、河川、農道等々、様々な工事の発注・監督に携わってきた。

高森町
建設課 課長

どいたに あきら
土井谷 顕 氏



2006年山口県庁入庁。道路維持管理、河川空間オープン化、新設コンクリート品質確保等に従事。2024年より現職。県と市町が連携する道路維持管理の群マネに取り組んでいる。

山口県 土木建築部
道路整備課 主査

よしむら たかし
吉村 崇 氏



法面作業員、建設コンサルタントを経て2021年に日向市入庁。現在は水道課主任技師。自主研修グループ「日向市土木技術研究会（ひむかどぼくら）」代表を務めるほか、行政エンジニア支援機構（そらる）や宮崎県コンクリート診断士会で技術研鑽を重ね、「人の群マネ」の実践に取り組んでいる。

自主研修グループ
「日向市土木技術研究会（ひむかどぼくら）」代表

めら まさのり
米良 成功 氏



建設コンサルタント、横浜市役所を経て2008年延岡市役所入庁。景観計画の策定や都市計画事業を経験。その後公園・下水道・道路の整備や維持管理業務に従事し、2026年4月から橋梁のメンテナンスを担当。

延岡市
土木課 専門員

かねもり ゆきこ
兼森 友紀子 氏

（一社）建設コンサルタンツ協会九州支部
平日 9:00～17:00
電話 092-434-4340
メール imkyushu@jcca.or.jp
HP https://jcca-kyushu.jp/imkyushu/

【各セッションの説明概要】

第一部 基調講演 13:15～14:15

2. 国土交通省のインフラメンテナンスに関する取組みについて

【国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 課長 笠井 雅広】

・インフラメンテナンスの取組みにかかる最新情報や「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」の取組み状況について紹介。

3. 今後のインフラマネジメントのあり方について

【インフラメンテナンス国民会議 副会長 植野 芳彦】

・インフラメンテナンスからインフラマネジメントへ。橋梁のトリアージなど富山市での実例に基づくインフラマネジメントを紹介。

第二部 市区町村長会議ブロック会議 14:25～15:45

4. 市町村におけるインフラメンテナンスの取組み状況

（1）市町村における取組み事例調査の報告

・九州・沖縄ブロックの構成員である市町村を対象にしたアンケートに基づく、各自治体の取組状況の報告。

（2）課題解決に向けた具体的事例の紹介

【築上町 町長 古市 照雄】

・令和2年度から町全体による包括業務委託（築上町包括業務委託、5年間契約）を実施。導入効果として、コスト削減や残業時間の減少など職員における働き方の変化について紹介。

【南阿蘇村 村長 太田 吉浩】

・インフラの老朽化や豪雨災害が多発するなか、南阿蘇村のインフラマネジメントとして、①職員直営による維持管理、②経済性に優れる新技術の積極的な活用、③村から各行政区への土木費補助について紹介。

【延岡市土木課 技師 有馬 晋之介】

・単に施設を維持するという目的だけでなく、地域の将来を見据え、地域と一緒に橋梁の集約・撤去を実施した取組みを紹介。

【長崎市中央総合事務所 理事 柴原 浩一】

・多くの自治体の共通課題である「除草」。この課題に対して、新技術を活用した除草剤※の活用・効果について、その取組みを紹介。※R7年度九州フォーラムマッチングイベント：道路雑草管理の新技術

（3）各県企画員による意見発表・とりまとめ

・（1）及び（2）による事例の調査・紹介に関する意見、さらには今後の取組みの推進に向けた理念・知見の共有及び繋がりによる連携について、各県企画委員による議論。

第三部 パネルディスカッション 15:55～17:25

5. パネルディスカッション

【インフラメンテナンス国民会議 副会長 植野 芳彦（第一部基調講演）】

・富山市の政策アドバイザーとして活動している中で、いかに周囲の人間を巻き込んでインフラマネジメントの実行に移してきたのか、人との関わり方や人を惹きつける方法について紹介。

【山口県土木建築部道路整備課 主査 吉村 崇】

・山口県が市町と連携して取り組んでいる群マネの内容や将来を見据えた広域連携の展開、さらには県庁内・外の人との繋がり方をこれまでの取組みをもとに紹介。

【日向市土木技術研究会（ひむかどぼくらぼ）代表 米良 成功】

・日向市若手職員の技術力向上や実践を通じた地域との繋がり場として立ち上げた「日向市土木技術研究会（ひむかどぼくらぼ）」での活動紹介（勉強会、保育所安全点検）や、今後の展望について紹介。

【高森町建設課 課長 土井谷 顕】

・将来の老朽化施設の増加、人口や職員数の減少を見据えたインフラマネジメントとして、町道の移管・路線廃止を実施。地域住民を交えて一つ一つステップを踏みながら実践したその手法を紹介。

※第3部では第2部より4つの自治体より参加。